

【ESD 推進のためのユネスコスクール宣言文】（抜粋） 2014 年 11 月 8 日採択
日本のユネスコスクール：私たちのコミットメント（誓い）

私たちは、日本の教育を変えていく原動力として ESD をこれからも進めていきます。

- ① 私たちは、持続可能な未来のために、身近な地域に貢献するとともに、グローバルな視点に立って行動する次世代を育みます。
- ② 私たちは、平和、環境、気候変動、生物多様性、国際理解、多文化共生、エネルギー、人権、ジェンダー、防災、文化遺産、地域学習、持続可能な生産と消費等、学びの入り口やテーマが何であれその先に地域、国、アジア、世界の平和と持続可能性を見据えて、地域の人々をはじめ多くの人たちと協働しながら、つながりを意識した教育を実現します。
- ③ 私たちは、ESD の本質を理解するとともに、ESD の魅力を広く社会に伝えるため、児童生徒の変容、教師の変容、学校・地域の変容を明確に示します。
- ④ 私たちは、気候変動、生物多様性、防災、持続可能な生産と消費など、国境を越えたグローバルな課題について理解し、解決方法をさぐり、解決に向けてともに取り組んでいく国内外のユネスコスクール、特に近隣のアジア諸国のユネスコスクールとのテーマ学習・協働学習に取り組みます。
- ⑤ 私たちは、互いに学びあい、活動の質を高めていくために自発的に組織されるユネスコスクール同士の全国ネットワークをつくります。そして、ユネスコスクール間の交流や協働を推進し情報交換・活用の仕組みを充実させます。
- ⑥ 私たちは「変化の担い手」として子どもと教師を捉え、地域社会における持続可能性の実践者となるように努め、他の学校、社会教育・生涯学習機関、NGO/NPO、自治体など多様な主体とともに、持続可能な地域づくりに貢献します。
- ⑦ 私たちは、さまざまな主体との対話と連携を通して、「国連 ESD の 10 年」の後継プログラムである「ESD に関するグローバルアクションプログラム（GAP）」の 5 つの優先行動分野をつないでいきます。
- ⑧ 私たちは、世界 181 の国にひろがるネットワークの一員として、ESD に取り組み、持続可能な未来をとともに築いていくことを、そしてそのために、さまざまな交流と連携の機会をつくって学びあうことを、日本と世界のユネスコスクールに対して呼びかけます。

学校によるさらなる ESD 推進：ユネスコスクールからの提案

ESD の推進拠点としてのユネスコスクールの経験、成果と課題にもとづき、私たちのコミットメントをより良く実現するために、また、ESD をユネスコスクール以外の学校へ、地域へと持続的にひろげていくために、ユネスコスクールとすべての学校、その支援者に向けて、以下を提案します。

- ⑨ 教師や子どもたちの主体的な発意やアイデアを尊重し、創造的な授業づくり、教科横断的で探究的な教育課程づくりによって学校全体で ESD をすすめる。
- ⑩ ESD を通した子どもたちの学びの質や育ちを内発的に評価する方法など、ESD の成果をモニタリング・評価するための方法を検討し、共有する。
- ⑪ 各学校の ESD を持続的に支える政策や制度をつくり、また校長のリーダーシップが ESD の特徴をいかした形で発揮できる基盤を整備する。
- ⑫ 教師や教育関係者が自らの専門性を生かしながらローカル／グローバルな視野で持続可能性についての認識を深めるための研修制度を拡充させていく。
- ⑬ 地域において、学校を含む多様な主体が持続可能な社会づくりに参加し連携・協働できる仕組みをつくる。